

実は身近な放射線のお話



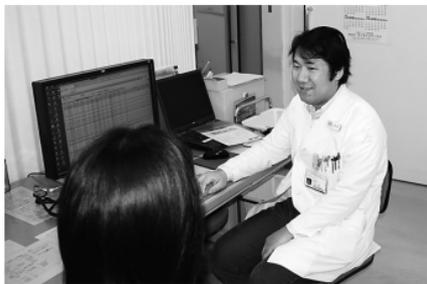
徳島大学病院
放射線治療科助教

川中 崇氏
かわなか たかし

放射線を使った検査や治療を敬遠される方もいらっしゃるようです。放射線は体に有害な印象があることから、放

普通に生活をしていると意識することの少ない放射線ですが、実は我々の身近にもあります。例を挙げると、体に必須のミネラルであるカリウムには一定の割合で放射能を帯びたカリウム-40が含まれています。バナナにはカリウムが多く含まれることから、バナナ1本につき約 $0.1\mu\text{Sv}$ の放射線被曝が予想されます。ちなみに、胸部レントゲン写真をとる際にはおよそバナナ100本分の放射線を用います。

余分なカリウムは体から排泄されるので、バナナを食べなくても放射線被曝が増加するリスクはほとんどありません。イメージ先行で不必要に放射線を怖がるのではなく、正しく理解してうまく健康維持に活用しましょう。



 徳島大学病院がん診療連携センター
お問い合わせ がん診療連携センター: Tel.088-633-7312

がん相談支援センター
相談窓口 Tel.088-633-9438

徳島がん対策センター
<http://www.toku-gantaisaku.jp/>